

「さあ、Scienceの帆を上げよう！！」は生徒から応募のあったキャッチコピーです。本校校歌にある「徳の帆を上げ知恵の舵」に由来するものです。

「SSH 事業を飯水岳北の新しい教育創造のエンジンに」 学校長 米澤 修一

1年前の平成21年12月28日、文科省からSSHの募集があったことを伝えるメールが高校教育課から入った。直感的に、これは反応せよということだ、と思った。SSHを屋代高校で立ち上げた経験のある宮坂晃教頭先生(当時、現蓼科高校長)に、これはやるっていうもんだよな、と言うと、いとも簡単に「はい」と答えるではないか。これで運命は決まった。校内関係者に相談し、正月明けから計画書の作成に取り掛かり、ほぼひと月で概要が出来上がった。池川信夫先生には事情をお話し、計画段階から手弁当でお出でいただきご指導いただいた。大熊文久先生はじめ理科・数学・社会・英語等の関係の先生方には休日もいとわずにご準備いただいた。2月上旬には計画書を提出し、3月8日に文科省・JSTの皆様からのヒアリングが東京であった。飯山の自然、雪、水、米、伝統技能、などを教育資源としてSSHを進めること、これまでに培ってきた地域での算数数学及び英語の小中高連携がSSHの地元還元ルートとなることなどを注目していただいた。4月7日、高校教育課から文科省のSSH指定校に決定したと連絡をいただき、飯山北高校におけるSSHがスタートした。

一年目、関係の皆様のご指導とご協力により、これまで自然観察フィールドワークやサイエンスツアー、大学のキャンパス研修、グローバル・ローカルをテーマにした教科横断授業週間の設定、課題研究全国発表、講演会、サイエンスカフェなど、計画は順調に進んでいる。平成23年度には、JST理事長の北澤宏一先生の講演会も10月に予定されている。平成24年の探究科導入、26年の統合に向かって、SSHはその下支えとなるものとして全職員で育てていき、地域の皆様とともにこの地域の新しい教育創造に邁進したい。

年頭
新年にあたり
申しあげます



SSH 指定記念講演会「はやぶさ～最後の光の秘密」

11月29日(水)、国立天文台はやぶさ観測隊のメンバーである、長野工業高等専門学校教授の大西浩次先生を講師にお迎えし、SSH指定記念講演会を開催しました。世界的な偉業として広く新聞やテレビで賑やかに報道されている通り、JAXAが打ち上げた小惑星探査機「はやぶさ」が、小惑星「イトカワ」で採取した微粒子の入ったカプセルを携え、今年6月、7年ぶりに地球へ帰還しました。講演会では、太陽系の形成にまつわる話や原子からの発光のメカニズムに関するお話がありました。それをもとに、「はやぶさ」が大気圏へ再突入した際の発光現象の観測の様子や、分析結果の考察、観測の意義について、専門的なお話がありました。最先端の科学研究を行う現場の迫力が、直に伝わってくるようでした。最後に、「『はやぶさ2』の計画が進行中であり、今皆さんが研究者を志せば、直接関わる機会が得られる可能性もある」と奮起を促されました。

～ 生徒たちの感想 ～

- ・長野県にも世界的なプロジェクトである宇宙について研究している人がいるんだなあと、自分に全く関係がないと思っていた宇宙が少し身近に感じられた。
- ・それぞれの元素が独自の発光スペクトルを持ち、それが今の私たちの使う光に使われている。熱を高くすると光は明るく白へと近づくが、発光ダイオードはどうなっているか知りたい。
- ・自分の研究したいことを研究し、毎日新しいことにチャレンジしている大西先生は楽しそうに見えました。自分もそんな人になれたら良いと思いました。
- ・地学の問題集で地球の起源を調べるのに、どうして隕石を使って調べるのか分からなかったのが、今日分かってすっきりしました。とても楽しい講演会でした。
- ・はやぶさについての講演はSSHらしくてとてもおもしろい内容だった。今後もこういった講師の方を呼んでほしいです。
- ・DVD「祈り」を見ていると、片道3年もかかる道のりを独りぼっちで旅しているはやぶさが生きているように感じられた。
- ・惑星「イトカワ」の着陸に2回挑戦し、1回目の失敗を生かして2回目は成功へ導く今の科学技術と、「イトカワ」に着陸するための日本の計算力がすごいと思った。
- ・いつか教授になって宇宙(惑星や宇宙の空間の仕組みなど)や未知のことについて調べ、新しい発見をしていきたいなあと思いました。



DVD「祈り」を上映しながらの講演



ラッコの形をした小惑星「イトカワ」(お腹の部分に「はやぶさ」が着陸)



「信州のガリレオ」がやってきた！！
長野工業高等専門学校教授大西浩次先生



講演の最後に、大西先生へ質問する北高生

ご意見・ご要望はこちらへ・・・

〒389-2253 長野県飯山市大字飯山 2610 番地
TEL 0269(62)4175
FAX 0269(81)1072
URL <http://www.nagano-c.ed.jp/iikita/>
E-mail iikita@nagano-c.ed.jp